

しい説明はなかく、子供の頭へ入るものではありません。假令子供が多少でも教訓の意味を聞分けるとしましても、大人ですら教訓の本體は促へ難いものでありますから、殊更子供であつて見れば、容易に教訓の本體を促へることは出来ないものであります。それですから子供に善い習慣をつける最良の方法としては、模範即ち良い手本を示して躰けるのが捷徑であります。

## (2) 豪い人を手本にせよ

活きた事實の良い手本を示して子供を躰ける材料といたしますと、第一子供が非常な喜びを以てそれを迎へまして、殊に模倣心に富んだ子供は、直ぐその手本通りに真似をせようとするものであります。詰り活きた手本を示して子供を躰けると云ふことは、耳や眼から入れる最も有効なる具體的の教育法であります。元來子供は周囲の事情や境遇からいろ／＼の感化を受けて、見たり聞たりする中に

知らず識らず其の影響を受けて居るものであります。丁度玩具や繪本やお伽噺などから間接の教育を受けて居るやうなものであります。その中でも子供に最も強い感化を與へるものは何んであるかと申しますと、それは人即ち人間に關したものであります。それ故楠公の話や乃木將軍の話は、子供は如何に興味を以て聞き且つこれを真似せようとする傾きがあるか判ります。單に歴史の上に現はれた人ばかりでなく、現に生きて居る豪い人に對しても間接に非常な感化を受けつゝあるものであります。子供に良い習慣をつけんとする準備に於ても、又は善い行ひの道を教へる方法に於ても、事實に現はれて居る豪い人物を手本とすることは全く子供を善い方面に導く最良の方法と謂はねばなりません。

子供が偉い人に對する崇拜心が如何に強いか、又それ等の人から受けるところの感化が如何に大きいかと云ふことにつきまして、或小學校で試みられた實驗があります。それは八歳になる子供二百五十人と、十一歳になる子供二百五十

人とに對し、先生が如何なる人を最も尊重し且つその人とならんと願へるや」と云ふ問題を出しましたところが、八歳になる子供の中では約千人程が家庭や親友の内から或人物を選び二百五十人程は歴史にある人物を選び出しました。然るに十一歳にある子供の方は全く八歳になる子供とは反對に、千人程の子供が歴史から或人物を選び出し、他は何れも知人又は親類から或人物を選び出したのであります。此の事實を見ますと、八歳時分の子供は未だ歴史上の多くの豪い人物を知りませんが、十一歳頃にもなれば多くの歴史上の偉人を知るやうになり或は家庭の人などからも、いろいろの種類の人物を聞かされて居るからであります。何れにいたしましても子供が人に對して強い感受性のあることが解ります。それですから子供を躾ける上に、偉い人を手本に示して子供相當の道徳心を向上せしめることは、最も有効な教養法で且つ必要な條件と云はねばなりません。

### (3) 毒を以て毒を制す

子供は子供同志と云ふことがありまして、親の云ふことよりも却て友達から忠告されたことを案外よく聞くものであります。それ故子供の癖の性質によつては他人の手でそれを矯正することが比較有効な場合があります。兎角子供と云ふものは親や学校の先生の言附けをよく聞入れるものであります。少し不良な癖を有つた子供は、親や先生に對してどうかすると何とも僞瞞する態度に出ることが多いのであります。殊に人のものを盗るやうな悪いことをする子供は、子供相應に巧妙な手段を以て悪事を働くものでありますから、其の手で以て親なども巧く丸めて言ひ逃れをすることがあります。若し子供が悪いことをする現状を目撃せられたとしたなれば、今度は親の叱責に恐れて何んとか甘く僞瞞して一時逃れを企てるのが常であります。然るに友達でありますと第一遠慮と云ふものがありま

せん。それに温情に感ずる力が強いのであります。斯う云ふ點を利用して悪癖の矯正に友達の力を借りるのは非常に有効なものと信するのであります。實際に於て友達同志の力で悪い癖を矯めたこと云ふ實例は澤山あります。

次に毒を以て毒を制すると云ふ所謂毒制主義の矯正法もありません。これは悪い癖に對して更にその癖を進めつゝ矯めて行く方法であります。丁度醫者が特種の病氣には更にその病氣を重らせて治療する一種の方法があると同じで、斯うした方が却て結果が好いからであります。先づ其の實例に就て申せば、或上流家庭の十二歳になる子供が、年齢不相應にも色情を解したのであります。年端の行かぬ子供が色情を解すると云ふことは如何にも事實でないやうに思はれますが、これを醫學上から見れば斯んな子供もあることになつて居ます。そこで此の子供が色情を解するやうになつた以後と云ふものは、以前は少年雜誌位を讀んだものであつたのが、それ以後と云ふものは耽溺小説を讀むやうになり、朝から寝るまで

學業を他所にして淫蕩小説ばかりを喜んで讀むやうになりました。そればかりでなく、時には女中にかからかつて見たり、時には親の監視を逃れて花柳界の方面へも行くやうになりました。尤も花柳界の方面へ行くと申しても、登樓するのが目的ではなく、そこは子供だけにたゞ綺麗な女を澤山見たい位で、別に金銭を使ふと云ふ程ではなかつたのであります。此の子供の癖が癖だけに家庭でも大に心配して、これは一時嚴重な家へでも預けて訓陶を受けるが宜からうと云ふ事になりました。或嚴格な人の家へ托することになりました。それから半年も経つたかと思ふとき、其の人から到底矯正の見込みがないと宣言されて親の許へ歸やされたのであります。親も地位のある人だけに餘計に心配して、今度は初等教育に最も経験のある先生の宅へ預けたのであります。此の先生が最初この相談を受けたときには一つの確信を以て教化しようとして引受けたのであります。そして其の方法と云ふのは、前の嚴格一方の躰け方とは全く反對に、女中から家庭教師に至る

まで一切妙齡の婦人をつけて、先生は間接の地位から色々婦人を通じて本人を教育する方法に出たのであります。時には女優劇を見せたり或は遊里に散歩させたり、又は可なり極端な小説をも讀ませたりして、専ら子供の心の行く方面ばかりを挑發するやうにして、そして間接に外部から矯正の實を擧げんと試みたのであります。その結果として約十箇月ばかりの間に、元の無邪氣な子供となつたことが實驗上證明されました。之れは要するに毒制主義の矯正法が時として効果があると云ふ一例に過ぎませぬ。

#### (4) 機會の捕へ方

それから悪い癖を矯正する上に就て第一に考へて置かねばなりません。それは、矯癖の機會を甘く捕へると云ふことであります。すべて物事は何に限らず機會を捕へると云ふことは必要であります。殊に矯癖上に其の機會を甘く捕へますと

案外早く其の結果が現はれることがあります。それと反對に好い機會が来て居るのに拘らず、それを捕へ損ひますと、努力した割合に其の効果を收めることが出来ませぬ。最一つ矯癖上に考へて置かねばなりません。これは、子供の癖と成らうとするものを成る可く早く見出すと云ふことであります。一體癖と申しますものは多くの場合一方に偏して固く泥んだ悪い習慣でありますから、癖を發見するところが早いだけ、それだけ矯癖の効果が早く現はれると云ふものであります。中には早く發見すれば、それは未だ癖になつて居ないと云ふ人もありますが、自分は早く發見した積りでも既にそれが立派な癖になつて居ることもあります。よしんば癖の習慣性となつて居ないといつても、悪いことを早く見出して早く善い馴れをするのは、子供を教養する上に最も良いことであります。

機會を何う云ふ風に捕へるかと申せば、爰で一吋一つ實例を擧げて見ませう。或家に六歳になる女の子供がありました。此の子供は晩に寝る時と朝起る時には

必ず二三十分づゝは缺さず泣くと云ふ癖がありました。その悪い癖が約一年にも亘つて居たのでありますが、其の母親がその癖を癒さうという／＼と苦心した揚句、切めて朝の泣き癖だけでも矯めて見ようと思つて、それには何んでも朝子供が目を醒すときに心氣一轉させる方法を探らねばならぬと考へたのであります。そこで夕方綺麗な小鳥を一羽買つて来て、それを子供に見せて明日の朝からはお前が餌を遣らないと死んで了ひますと、よく／＼子供が了解するやうに話して置いたのであります。そこで朝になると其の小鳥を子供の枕元へ持つて行つて早く起きて餌を上げなさいよと起しましたのが初まりで、一年以來未だ一度も泣かずに起きたことのない子供が、この朝に限つて機嫌よく起きて餌を遣つたのであります。それを機會にそれ以來といふものは此の方法を探つて居ましたが、毎朝泣かずに起るやうになつたのであります。それでも小鳥ばかりでは飽くであらうと思つて成る可く教育的で心氣を轉するやうな方法を探つて、遂に子供の泣き癖を矯

めたのであります。これは詰り一朝泣かなかつたそれを機會に、熱誠を以て是れに當つたから能く其の目的を達し得たのであります。斯う云ふ風に悪い癖を矯める上に、充分注意して其の機會を捕へることの必要なことは固よりであります。それと同時に癖の発見はごく細かな事柄から知ることが出来ますから、其の點も注意して置かねばなりません。それから子供が多数ある家庭でありますと、同じやうな癖を有つた子供があるといつたしましても矯癖に取掛る機會も悪癖の発見の動機も皆一樣には行くものではありませぬから子供の性格等を能く見極めてそれに適應する所置を探つて行かねばなりません。尙子供に悪い癖をつけさせまいとして、單に家庭の境遇や教養の方針ばかりに注意しても、外から注入される一種の誘惑が親の目を掠めて子供に悪癖をつける場合も多いのでありますから、此の點なども餘程考へて置く必要があります。前にも述べました通り子供と云ふものは概して善惡に對する觀念が極めて薄弱なもの

でありますから、子供の日常の行動を見る上にも充分此の消息を知つて居らねばなりません。子供は自分に悪いことをしても善いこと、信じて居ることもあれば又は善いことをして別にそれを善いこと、思はぬこともありませぬ。子供が善悪の差別を知るやうになりますのは、親の良い教養の仕方殊に賞罰から知るのでありますから、賞罰を行ふときには決して間違つたことをしてはなりません。賞罰が間違つて居ますと却て子供の悪癖を親がつけるやうな結果になつて現はれて来るものであります。それから子供の身體や精神の作用などは未だ發達の途中にあるものでありますから、知力とか徳性とか情性とか平均して居ません。それかと云うて其の中の一つが非常に發達して、他の二つが未熟の儘になつて居ることもありませぬ。手癖の悪い子供などは知恵の方が比較増せて居て、徳性とか情性とか發達して居ない場合が多いのであります。それ故悪いことをする時には大人も思ひ及ばぬ程の巧みなことをするものであります。斯う云ふ次第でありますから

盗み癖のある子供は其の癖の發見や機會を捕へることが容易でありませぬ。悪い癖があるなと思つた時には、それまでに既に相當の悪いことを働いた後であつたと云ふやうなことがあります。次に子供の心情と云ふものは大人に見るやうな靜平が存して居ないと云ふ點にも注意して置かねばなりません。殊に少年時代の子供は一寸した刺戟にも直ぐ感應しますし、少しばかりの感情にも直ぐ動くことと云ふ始末で、殆んど盲目滅法に行動することは、とても大人の想像し及ばぬことでもあります。そして尙自分とか他人とかの所謂區別の觀念に欠けて居ますから、悪いことをすれば他人が迷惑するとか又は親が心配するとか云ふ考へは少しもありません。大體子供にはこんな特質が備つて居ますから、充分此の邊から來る特質を見極めて置いて、それから徐ろに悪癖の發見や豫防や矯正の機會などを捕へる方法を心懸けねばなりません。好い機會を捕へたと思つても、それが眞の機會でなくして、却て子供の特質に欺まされたと云ふやうな場合もあります。

## (5) 眼や耳から入れれる躰け方

世の中が進むに随つて、子供の癖も新しいものが出て来て、其の種類も多くなるのは當然であります。それ故新しい癖が増へるにつれ、又其の種類が多くなるに連れまして、一方には子供の躰け方等に色々新しい経験と方法を研究をしなければならぬことになりました。爰に子供の眼や耳から入れて行る躰け方の効果に就て少し述べて置きたいと思ひます。一體子供の感覚の中で何が一番先に喚び起されるかと申せば、それは觸覚であります。丁度赤ん坊が寝て居ます時には少しばかりの音響よりも、指で少し觸つた方が強く子供が受けるやうなものであります。其の次ぎへ來るのが視覚即ち眼へ來る感覚であります。そこで眼へ來る感覚を教育的に利用することが眼門教育であります。子供を躰ける上に眼から入れれる教育は、非常に大切な事柄の一つであります。教育の大部分は耳から這入

るものであります。昔からも申す通り百聞は一見に如かずで、眼に立派なものを見せるように仕向けるのは、殊に子供を躰ける上に最も大切な教育法であります。子供が一度見たこと柄は善い事にせよ悪い事にせよ。永久に而も明かに細かい點までも記憶して居るのを見ましても、如何に眼から取入れる力の強いものであるか解ります。幼ない子供が綺麗な繪本を見たがるのは、これは眼から多くの興味と教育を受ける階段でありまして、繪に描かれる居る動物や兵隊さんによつていろいろと想像的の解釋をして居る中に、それが一つの知恵を得る原因となるものであります。一體耳から這入る教育は一行でなければ這入りませぬが、眼から這入る教育は巾廣く且つ澤山一所に這入つて行きます。耳は鳥の鳴き聲とか樂隊の音とかを、一列にして入れれますが、眼は多數のものを同時に取入れて行くものであります。併し斯く申したからとて眼門の教育が必要で耳からの教育が不必要と申す譯ではありません。たゞ順序から云ふて眼の教育が耳の教育よりも先

だと申すまでのことではありません。  
次に眼から入れる教育が必要な譯を述べて見ませう。假りに子供に地理のことを教へるといたしますれば、地理などのことを色々説明して耳から入れやうとしますよりは、一枚の地圖を擴げて眼から教へ込むのが最も良い方法であります耳から入れるのに一時間を要するものといえますれば、此の方法なれば十分間に了解することになります。丁度これと同じ理由で、歴史を教へるにも修身を教へるにも、挿繪があつた方が子供には非常に便利で且つ記憶にも留め易いのであります。更に一層進んだ物理とか科學とか云ふ難しいものになりましたも圖や寫真があつた方が教育上便利であります。今日の大部分の新聞や雑誌が殊に子供雑誌の全部が挿繪を用ゐて居ますのは、要すに人の眼を先づ其の繪へ引着けてそれから説明で以て知識を向上せしめんとする方法に外ならぬのであります。昔は勸善懲惡の道を知らしめるために芝居を行つたものであります。これは詰り

人の眼から教訓を與へようとした試みだと思ひます。眼からの教育の効果から申せば、立派な講師の軍談よりも、辯士附の活動寫真の方が子供は喜ぶものであります。詰り眼からの羨は子供の教育の土臺となる可きものでありますから、此の消息を能く飲込んで置きませぬと、何うかすると折角の苦心が水泡に歸することがあります。それから眼から入れる羨は、たい見せるばかりでは何の役に立つものではありません。見せたものが心の奥に落着いて了解されねばなりません。子供が悪いことをした時に親の怖い顔を見せるのも必要であります。たゞ怖い顔を見せて一時子供が畏れるだけでは行きません。其の親の怖い顔が子供の心の鏡に撮るまでに行かねばなりません。

### (6) 子供は親に反抗するもの

耳や眼からの羨はばかりでなく、五官總體を通じて子供を教養する目的を達せ



ばなりませぬ。中にも耳や眼からの教育の價値にはこんな關係がありますから、耳や眼を利用する子供の躰け方は、なか／＼忽せにすることは出来ませぬ。子供の心さへ正しくすれば其の他のことは附録に過ぎぬと云ふ人もありますが、理屈はさうであつても、矢張り本からの教育と末からの教育と相待たねば、萬全の子供の躰けは出来ぬものであります。それから最一つ子供の躰けの上に注意して置きますことは、一體子供と云ふものは、成長の或る時期には親の言附けに反抗することが有り勝ちで、また親から叱られることを左程怖いものとも價値あるものとも思はぬものであります。何せ子供にはこんな性情があるかと申せば、幼ない子供は常に服従よりも反抗が多い理由があります。即ち正しい行ひとか善い嗜みとか云ふ觀念に乏しいからであります。それ故、親の言附けに服従させようといたしますには、其の前に正しい行ひとは何んなものであるかと云ふ觀念を與へねばなりません。親が頭から叱りつけても、子供が其の叱責に對して何等の意味を

有たぬのも無理からぬことであります。例へば子供を連れて散歩などに出た時によく經驗することでありますが、土堤などを歩いて居ます時などに、子供は夢中になつて危ない土堤を下りようとする場合があります。こんな場合に危ないからと云つて叱つて見たところが子供は其の命令に服従して中止するものではありません。ます／＼圖に乗つて下りて行くのが常であります。これは親が叱るのが正當だと云ふ觀念がないからであります。子供の方には何の惡意も故意も蟠つて居るのではありませぬが、こゝが子供の子供らしい性情なのであります。斯う云ふときには、こゝに綺麗な蝶が居るとか花が咲いて居るとか云へば、子供は坂を下りないで、必ず親の足元へ飛んで来るものであります。これは子供が一圖に坂を下りようとする衝動が變じて蝶や花に向つたからであります。よし其の時に其處に蝶や花の何物がないにしても、坂を下ることの危険だけは妨ぐことが出来る

と申すものであります。一旦子供の衝動を變じさせて置いてから、坂を下ること

の危ない譯を子供の了解する範圍で巧みに言聞かせますれば、不充ながら正しい觀念を興へることが出来るものであります。斯くして後に叱ることをしますれば、そこに叱責の意味と價值が生じて來るものであります。

子供の四十八癖畢

大正九年一月十七日印刷  
大正九年一月十五日發行

著作  
所有

子供の四十八癖【附】  
定價金壹圓

印刷所	印刷者	發行者	著者
東京市本所區番場町四番地 凸版印刷株式會社	東京市本所區番場町四番地 守岡功	東京市日本橋區本石町三丁目十六番地 株式會社 大橋文館 右代表者 取締役社長	服部北溟

發行所 東京市日本橋區本石町三丁目十六番地 株式會社 大橋文館

の材教校學      △△△  
料資好      友師良

少年少  
譚百年少  
庫の史歴

春の部  
夏の部  
秋の部  
冬の部

幼  
譚百年幼  
庫のお話

春の巻  
夏の巻  
秋の巻  
冬の巻

少年通俗  
教育會編纂

四六判上製各五百餘頁  
極彩石版寫眞版各四葉

正價各金九十錢

送料  
六錢

英雄偉人は少年諸君が崇敬の中心である。本書は和漢洋の英雄・偉人・豪傑・烈婦・學者・名僧などの逸事奇行と、内外大戦の物語と、併せて一編を集めたるもの、學校の談話會、同窓會などの講話材料として無上の寶典、お話の庫と共に讀めば、更に一層の利益と趣味がある。兩卷共に彩色口繪の美しさ、寫眞版の多き、何れも諸君の喝采を待つ。

古今東西のお伽噺と、英雄偉人の逸説とを巧みに排列した一編、面白い話、勇ましい話、不思議な話、おかしい話、珍らしい話、悲しい話、諸君の意のままに現はれて来る寶の庫智慧の鍵で開けて御覽なさい、夫れこそお伽噺にある様な種々の寶が諸君の目の前に並び出て、學校の好參考、家庭團樂の良師友、さア御評判々々々。

株式會社 博文館

巖谷小波編

全六部册完成

四年越しの世界大戦亂は、我が極東の小國民に、益々世界的智識の必要を感せしめた。此時に當つて多年斯界の權威と稱せられた小波氏の世界お伽噺全部百篇が、更に精選され、改訂されて而も携帯に最も便なる、袖珍台本となつて現はれるのは、決して偶然の事では無い。蓋し此體裁の合本が家庭用、學校用として、大に時要に適して居る事は、已に「日本昔噺」「日本お伽噺」の合本が、共に幾度か版を重ねて猶ほ品切れ勝たぬでも解る。今や此書の新裝して、我がお伽界に一大異彩を添へるに至つたも、亦聖代の快事ではないか。

株式會社 博文館

改訂袖珍  
世界お伽噺

袖珍判洋裝函入美本  
紙數各約五百頁  
挿畫各卷新進畫家執筆  
正價各册壹圓八拾錢  
送料各八錢

長夜消閑の伴侶

村井弦齋君著 ◆縮刷 酒道樂・女道樂 書圓八十錢 送料十錢	葛原幽君著 ◆少年小説 砲臺島 九十錢 送料六錢	巖谷小波君著 ◆教訓 お伽夜話 前編 一圓八十錢 送料十錢	竹貫佳水君著 ◆少年新訓 お伽つれぐ草 六十五錢 送料六錢	水野海大佐著 ◆縮刷 此戰 壹圓 送料六錢	樋口一葉女史著 ◆眞筆版 たけくらべ 一圓四十錢 送料六錢
---	--------------------------------------	--	---	-----------------------------------	---

株式會社 博文館

和顏愛語

釋宗演 師著

誰か謂ふ「弱き者よ、汝の名は女なり」と弱きは固と女の力なるを知らずつゝ、當代禪門の巨匠釋宗演師、活殺自在の禪機と縱橫無礙の快辯とを以て女人の禪を説き天下の女人をして嚮ふ處敵なからしめんとす、言々活社會の活消息にあらざるなく、句々禪味横溢す、江湖の女流並に一般人士の再讀を勧む。

三五判洋裝函入  
紙數三百餘頁  
正價金壹圓  
送料四錢

大橋涉君著  
 愛する子の爲に  
 原田醫學博士著  
 婦人衛生

正價九十五錢  
送料六錢  
正價八十五錢  
送料六錢

株式會社 博文館

# 家庭年中行事

四六判洋裝美本  
紙數四百六十餘頁  
正價壹圓廿錢  
送料六錢

近藤 正一 翁著

思想動搖の危険を防ぐは家庭組織を堅實ならしむるを第一義とす本書は此要求に  
應じて編述せるものにして、元旦より除夜に至る迄、家庭の行事といふ行事は一  
も漏さず記述し、上欄の記事は有益且興味多き齊家資料なれば現代に於ける家庭  
書中の白眉なるべし行文亦流暢にして裝幀最も優美。

小岩井規太郎君著

△實用裁縫全書 正價八十五錢  
送料八錢

秋穂益實著

△滋養經濟お手輕料理 正價七十五錢  
送料六錢

安西古満子著

△四季三食料理法 正價五十八錢  
送料六錢

株式會社 博文館

254  
73

終

